



事業名 いわて保育園看護職研修会

責任者：相墨生恵



令和5年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

・活動の概要

保育園で働く看護職を対象に、①小児にかかわる専門職者としての知識と技術のスキルアップ②保育園看護職のネットワークの構築③保育園看護職者が主体的に活動できるようになること、を目的として2度の研修会を開催した。

・活動の成果

「保育園で働く看護職に必要な技術と知識の習得を目的とした講義」「研修内容を実践につなげることを目的とした実践報告」「ネットワークの構築を主目的としたグループワーク」で構成し、成果を得た。

・研修会の様子と研修後アンケートの記述から～



取組みの効果と課題



知識と技術の向上

- ・スプーンにとった量や、ダウン症の子と食べ方、食べさせ方がとても勉強になった。
- ・子供の食べ方、唇の動き、咀嚼のしかたなど、今までよりもっと観察していきたいと思う。
- ・言葉と食が大きく結びついている事を学べた。
- ・看護師という専門職で嚥下や口腔機能に関わる知識を増やすためには必要と思った。

第17回アンケートの結果より

取組みの効果と課題



経験知の伝達

- ・悩んでいたことや対応についてたくさん方法を聞くことができた。
- ・自分の園でやっていないことがあり、勉強になった。
- ・専門的な会話をすることができ、それが一番よかった。
- ・今年保育園看護師になったばかりだったので、分からないことがたくさんあった。またこのような研修会に参加し、知識を増やしていきたい。
- ・他の園での離乳食のすすめ方、良い方法、アドバイスが聞けてありがたかったです。

第17回アンケートの結果より